

第13回 日本痤瘡研究会学術大会

会 頭 山本 有紀 (和歌山県立医科大学皮膚科)

日 時 2024年9月1日(日) 15:30~17:30

※会場が変更となりました。

会 場 名古屋国際会議場 第9会場 2号館2階 会議室222+223
(第42回日本美容皮膚科学会総会・学術大会会場内)

〒456-0036 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号

参加費 個人会員：無料 (予め配布する参加証を御持参ください。)

賛助会員：(1名につき)10,000円※

非会員：(医師) 5,000円※ / (その他：1名につき)15,000円※

※事前登録の方には、予め参加証をお送りします。

座長：古川 福実 (日本赤十字社 高槻赤十字病院)

講演1 脂腺と皮膚バリア

演者：久保 亮治 (神戸大学 大学院医学研究科 内科系講座皮膚科学分野)

毛嚢間表皮には、角層とタイトジャンクションの2つのバリア機構が存在する。一方、脂腺にはそのいずれもが存在しないと長らく考えられてきた。我々はマウス脂腺の解析を通じて、脂腺にもタイトジャンクションのバリアが存在することを示した。脂腺のタイトジャンクションバリアも毛嚢間表皮と同様に、バリアを維持したまま構成細胞が入れ替わっていく精緻な仕組みを備えていると考えられる。毛嚢脂腺系のバリア構造の詳細を紹介し、脂腺が皮膚バリアにおいて果たす役割について考察する。

座長：山本 有紀 (和歌山県立医科大学 皮膚科)

講演2 便秘と痤瘡

演者：松岡 悠美 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター 皮膚アレルギー生体防御)

日本人女性には「便秘をすると肌荒れをおこす」という感覚が古くから存在しているが、この感覚は欧米諸国では一般的ではない。便秘患者に見受けられる腸管の細菌叢の乱れ(Dysbiosis)の特徴は、痤瘡患者で報告されている報告と一致しているように見える。しかし、その両者をつなぐ炎症波及のメカニズムは明らかでない。日本人女性の感覚を科学的に明らかにするため、我々の研究室では新規の便秘-痤瘡動物モデルを作成し、便秘が痤瘡に及ぼす影響について解析している。

講演3 維持療法は、痤瘡の萎縮性瘢痕対策になる

演者：林 伸和 (虎の門病院 皮膚科)

萎縮性瘢痕は、痤瘡患者の大きな懸念の一つである。無作為に割り付けたアダパレン0.1%/過酸化ベンゾイル2.5% (ADP/BPO) 群、過酸化ベンゾイル2.5% (BPO) 群、無治療群による6カ月間の比較試験で、萎縮性瘢痕数の計数と3次元画像解析を行った。その結果、維持療法群 (ADP/BPO群およびBPO群) で萎縮性瘢痕数が減少し、無治療では瘢痕の面積、体積、最大深さが悪化するが、維持療法群では悪化はなかった。薬剤耐性菌対策だけでなく萎縮性瘢痕対策として、積極的に維持療法を導入していただきたい。

日本痤瘡研究会 (HP : <http://www.ibmd.jp/zasou/>)

(事務局代行) 〒113-0033 東京都文京区本郷3-40-10 三翔ビル4F

TEL : 03-6801-8084 / FAX : 03-6801-8094 E-mail : jars-sec@pw-co.jp

第13回 日本痤瘡研究会学術大会

申込書 ※事前申込にご協力ください。(個人会員の方は登録不要です。)

必要事項をご記入のうえ、下記事務局までメール又は郵送にてお送りください。

いずれかにチェック☑をお願いします。

- 賛助会員
非会員 (入会希望 入会希望なし)

ふりがな	
ご芳名	
ご住所 (<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務地)	〒 - 都道府県 市区町村
ご所属	
電話番号	() -
メールアドレス	@

※ご登録いただいた情報は、本研究会の運営管理にのみ使用いたします。第三者への個人情報の提供・開示はいたしません。

賛助会員をご希望の方は別途、事務局までご連絡ください。

研究会役員

- 理事長 林 伸和 (虎の門病院皮膚科部長)
副理事長 谷岡 未樹 (谷岡皮膚科クリニック院長)
理事 赤松 浩彦 (藤田医科大学医学部応用細胞再生医学講座教授)
窪田 泰夫 (香川大学名誉教授)
黒川 一郎 (明和病院皮膚科部長/にきびセンター長)
小林 美和 (こばやし皮膚科クリニック副院長)
古村 南夫 (福岡歯科大学総合医学講座皮膚科学分野教授)
山本 有紀 (和歌山県立医科大学皮膚科准教授)
山崎 修 (島根大学医学部皮膚科学講座教授)
監事 古川 福実 (日本赤十字社高槻赤十字病院名誉院長
同 顧問/皮膚・形成外科センター長)
顧問 川島 眞 (東京女子医科大学名誉教授)
宮地 良樹 (静岡社会健康医学大学院大学学長/京都大学名誉教授)

(五十音順)

日本痤瘡研究会

日本痤瘡研究会(Japan Acne Research Society,略称JARS)は、痤瘡研究者の意見交換の場をつくり、痤瘡の基礎研究や疫学調査、臨床研究を推進することによって、科学的根拠のある治療法の確立とその普及に努めることを目的に2012年6月に発足しました。

日本痤瘡研究会 (HP : <http://www.ibmd.jp/zasou/>)

(事務局代行) 〒113-0033 東京都文京区本郷3-40-10 三翔ビル4F

TEL : 03-6801-8084 / FAX : 03-6801-8094 E-mail : jars-sec@pw-co.jp